

令和2年7月27日

報道関係各位

News Release

株式会社ボルテックスセイグン 代表取締役社長 武井 宏
群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター センター長 太田 直哉

オール群馬産官学金連携による
日本初・自動トラック開発による場内自動搬送車実装プロジェクトの開始について

当社（(株)ボルテックスセイグン）は、安全第一主義を理念とする群馬県安中市に本社をもち、国内11カ所の拠点をもつ総合物流企業です。1951年の創業から、今年で69周年を迎えることができました。

このたび、経済産業省の令和2年度 商業・サービス競争力強化連携支援事業に、当社と群馬大学等の群馬県内産官学金連携による「大型トラックの自動運転による最短自動搬送サービス構築」事業が採択されました。

この事業は日本で初めて、群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センターが開発した自動運転機能をトラックに適用し、自動搬送車として当社現場で実用化します。実用化は2年後の2022年2月を予定しております。

特に、トラックの自動化による大型自動搬送サービスは、工場敷地内で複数製造棟をもつ大型製造工場へ、普及・販売展開を進めていければと考えております。

これまでの場内の自動搬送車両は、通路地面に磁気誘導棒を埋設し、その上を走るという固定された動作環境の中で自動運搬するやり方が主でした。従来の搬送方法を、本サービスにより大型化、フリーロケーションを具体化し、製造業の間接工程のIoT化による省人化を実現します。また、現場での安全品質は、当社がこれまで培ってきた安全活動のノウハウを活かし、安全で最適な自動搬送機能をシステム化し、ゼロ災現場を実現します。

尚、本プロジェクトにおける群馬大学による自動運転技術は、政府「官民ITS構想」による「レベル4」での運用を目指しています。このレベル4での運用を想定した公道実験は、路線バスにおいても2019年に群馬県内で行われ、成功を収めております。

更に、今後政府の規制緩和が進み、公道での大型トラックの自動搬送が可能になれば、本事業で開発した自動運転トラックサービスは、物流倉庫へ製造工場への輸送も1台で完結できるビジネスモデルへ発展させることができ、一層の生産性向上が期待できます。

本プロジェクトや体制は以下の通りです。本事業の実証実験の体制が整い次第、皆様に再度お声を掛けさせて頂きたいと考えておりますので、よろしくご依頼致します。

記

■経産省採択プロジェクト名：工場内の省人・効率化を実現！大型トラックの自動運転による「最短自動搬送」サービスの構築

◆プロジェクト期間：2020年8月（予定）～2022年3月

◆連携事業者：群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター、(株)プロコード、群馬日野自動車(株)、(一社)群馬県トラック協会、群馬県、(公財)群馬県産業支援機構（よろず支援拠点）、群馬銀行 等

□お問い合わせ 株式会社ボルテックスセイグン（経済産業省選定 地域未来牽引企業）

電話：027-382-3333（担当：新井・岡村） メール：n-arai@vortex.gr.jp

所在地：〒379-0133 群馬県安中市原市 432 番地

以上